

# 夢を追う卒業生 その13 平成30年10月5日

## 様々な経験を積む大学生活

◇今回は、遠藤勇太さん（名古屋大学農学部在籍、東京大学大学院合格）のレポートです！

平成26年度卒業生の遠藤勇太です。卒業後は名古屋大学の農学部に進学し、来年からは東京大学大学院の農学部に進学します。大学院卒業後は岐阜県の高校教師になりたいと考えています。

### 研究生活 ～サイトカイニンの探究～

理系大学生のメインは研究だと考えている方も多いのではないのでしょうか。しかし、1、2年生の間は講義を受けて知識をインプットしていくという生活でした。やっと、3年生になると基礎実験が始まり、実験の基礎力を身につけました。そして、4年生となった現在から卒論研究として、まだ誰も発見していない自然の原理を解明するための実験を行えるようになりました。

私の研究はサイトカイニンという植物ホルモンの機能を化学的、生物学的手法を用いて解明することです。人口増加が著しく、食糧不足が嘆かれている現在、肥料の飛躍的発展につながる研究であると期待されています。研究室には少なくとも平日の9時から18時はいるという忙しい生活を送っています。理系の実験のある分野に進もうとしている方々は、4年生になるとたいていこのような生活になると思います。

研究室に入ると実験ばかりをしているかと思う方もいますが、研究に関する論文を読んで知識をつけるという機会も多いです。そして、理系が読むのは100%英語の論文です。英語がすらすら理解できる

人とそうでない人では論文の理解度が大きく変わってきます。それに加えて、1、2年の講義でどれだけ基礎知識を定着させられたかという事も論文の理解に影響します。

私は、大学に入ると同時に英語の勉強もほとんどしなくなり、1、2年の講義もテスト前日にただ単にテストに出やすそうなところを覚えてなんとか単位だけは確保するという生活でした。これから大学受験をする生徒には気をつけて欲しいです。



研究室の方々とお花見

研究室に入ると教授、准教授、助教の方々、修士や博士の先輩たちがいます。お花見、ボーリング大会、旅行など研究ばかりでなく楽しい事もたくさんあります。また、年上の方々からの話はとてもためになります。



私は特に植物病原菌が合成する新規のサイトカイニンの機能についての研究をしています。病原菌を感染させると Leafy Gall と呼ばれるこぶを作ります。

サイトカイニンを作る病原菌を感染させた植物

## 短期留学

私は3年生の春休みを利用して1ヶ月カナダのトロントに語学留学をし、ホームステイをしながら語学学校に通っていました。ホームステイ先ではカナダの人、語学学校ではブラジル、コロンビア、フランス、イタリア、ドイツ、韓国など様々な国のの人たちと親しくすることができました。そして、文化の違い、性格の違いなど直に感じる事ができました。

また、日本の文化を親しくなった海外の方に伝えるのも楽しかったです。寿司はカナダにも浸透しており、たくさんのお寿司屋さんがありました。寿司屋と言ってもその風景は日本と異なり、生魚は苦手だからと言って、チキン寿司ばかりが並ぶコロンビアの方のテーブルに驚きました。もちろん、観光も楽しかったです。ナイアガラの滝ではそのスケールの大きさに圧倒されました。

留学というと英語力をつけることばかりに目が行く人もいますが、それよりも異国の人と親しくしたり、異国の文化に親しんだりすることで人間性を豊かにできる良い機会であると思いました。長い期間の留学は大学生の間こそ時間に余裕があってできると思うので今後のグローバル社会の発展を見据えて考えて見てはいかがでしょうか。



語学学校のクラスメイトと



ナイアガラの滝

## 教職課程

私は将来、高校教師になることを考えていたので、農学部の学問とは別に教職課程を履修していました。同じ学部で最初は15人くらい教職課程を履修していたのですが、最後まで残ったのはたったの3人

でした。なぜなら、教職課程をとるとその分周りの人よりも多くの時間、学校にいないではならなかったり、テストの数が増えたり、教育実習を含めたいいくつかの実習に参加しなければならないからです。本当にやる気のある人でないと続けるのは厳しいのかもしれませんが。

一方で、講義では普段の農学部 of 学問にはない分野を学習することができるのも魅力でした。教育心理学という分野の講義には特にひかれました。

みなさんは、マズローの五段階欲求説を知っていますか？ 中学生、高校生の皆さんにはこの機会にぜひ知っておいて欲しいです。マズローの五段階欲求説とは人間は最初に生理的欲求、それが満たされると安全の欲求、次に所属と愛情の欲求、そして承認の欲求へと欲求の段階が上がっていきます。そして最後の五段階目が自己実現の欲求です。中学生、高校生のみなさんにはぜひこの五段階目の自己実現の欲求を追い求めて進路を決めて欲しいです。

教育実習では実際に教壇に立ってみることでわかることがたくさんありました。時間内に伝えなければならぬことの多く、時間内に終わらない事もありました。また、どう伝えれば理解してもらえるかの試行錯誤も大変でした。しかし、教育実習を終えて自分の目標に近づけた気もしています。

## 最後に

大学生活は学問や研究が主かもしれませんが、新しいことに挑戦して行くチャンスが多い機会でもあります。アルバイトやサークルで活躍する機会にも恵まれています。先ほど挙げた留学も補助金を受けていけるものもあります。また、私の場合は、自転車で名古屋から東京まで行ったり、琵琶湖を1周したりしたのもいい思い出です。

夢のある大学生活を送るためにも関高校での生活を大切にしてください。自分が将来やりたいことを見つけ、それに向かって早くから計画的に取り組んでください。私も、3年生になったら12時間勉強をしていました。受験生の皆さんはこれから大変だと思いますが、人生における大きな分岐点でもあるので全力を尽くして自己実現してみてください。

これからの皆様の益々のご活躍を陰ながら応援しています。